

開封しました ほほえみポスト

2021年1月～3月 小豆沢病院利用委員会



2021年1月から3月までの3ヶ月間で8通のご投書をいただきました。ありがとうございました(同じ趣旨のものはまとめさせていただいています)。

この内容は外来のディスプレイで放映しているほか小豆沢病院のホームページにも掲載しています。

ホームページでは過去約1年分をご覧いただくことができます。www.kenbun.or.jp

改善に関わる投書

●健診をされた利用者様から

健診センターの衛生が悪い。利用する人にはアルコールによる手指消毒をするのに、心電図のベッドは前の人が残ったままの汚いところへ寝かせる。眼底カメラはオデコやアゴを置く場所の消毒がされていないので、これではコロナどころか普通に汚いと感じます。

(回答)

不快な思いをさせてしまい申し訳ございませんでした。

眼底カメラなど、健診にて利用する機器については、利用のたびに消毒をおこなっております。

しかしながら、眼底カメラなど待合スペースとはパーティションで区切られたスペースの場合には、実際に消毒がおこなわれているのかどうかを、利用されている皆様が目視で確認することができない構造になっております。

今回のご助言となるご指摘を受け、「受診者ごとに消毒をしていますので、お待ちいただくことがあります。」といった内容を、待合スペースから確認できるように掲示することにしました。ご指摘いただき、ありがとうございました。

●入院をされた患者様から

みなさま5ヶ月間ありがとうございました！！長い間お世話になりありがとうございました。今後もこの病院が続くことを祈っています。少ないスタッフで重労働の毎日ですからお体に気を付けてください。

そんな日々の中、疲労やストレスもたまることもありますが、患者にはぶつけないでください。患者の態度が良くない時もちろんありますが、病院内でいちばん弱い立場は患者です。多くの方々はそれを心得ていますが、時として目や耳を疑う言動もあります。多くの患者さんが認知症だったり、高齢であったりすることを思うとき、この方々の生きてこられた人生や社会を想像します。私たちは全ての人々が人として生きる権利＝人権を守りたいと思います。そのためにはお互いの立場から乗り越えていくべき課題はおのずと見えてくるはずで、これから決して楽でない日々を過ごす私は小豆沢病院での5ヶ月間はまさに良い勉強になりました。みなさまお元気で。

(回答)

スタッフへのねぎらいや励ましの言葉とともに、全ての人々が人として生きる権利、「人権」を守ることの大切さを示していただきありがとうございます。

目や耳を疑う言動などありましたら、具体的にお申し付けください。調査の上で必要な対応とともに改善をすすめるようにいたします。

目の前の人の「人としての権利」を守り、大切にすることを、病院の理念や目標という言葉だけでなく、業務中での行動で示せるよう、スタッフ同士が日常的に相互点検をすすめられるように努力してまいります。

ご評価をいただいた投書

●入院をされた患者様から

5階病棟をはじめ、病院の皆様へ。今日は誕生日のお祝いをしていただき、ありがとうございました。心から嬉しく思います。本当にありがとうございました。胸がいっぱいです。

●入院をされた患者様から

入院中は細部にわたってご指導いただき退院させていただくことが可能となり、小豆沢病院スタッフのご一同様に心より感謝しています。ありがとうございました。

●入院をされた患者様のご家族から

以前入院していた友達からリハビリはとても厳しいと聞かされていまして。主人もこんなに早く帰れるとは思っていません。本当にありがとうございました。

食事のメニューもノートに書き留めてきました。家に帰っても参考にしながら何か作ってみようと思いました。酢の物は本当に美味しかったです。ありがとうございました。ごちそうさまです。ボイルした野菜にポン酢をかけることを覚えました。

リハビリの職員は若い方が多くとても楽しかったです。

●入院をされた患者様から

3階の皆様には大変お世話になりました。特にリハビリセンターの岸先生と柳沼先生には大変お世話になりました。感謝いたしております。本当にお世話になりました。皆様、お体を大切になさってください。

●入院をされた患者様から

この度はいろいろお世話になりました。職員の方々には本当に頭の下がる思いです。心よりお礼申し上げます。

